



《キャロル、君はもう帰らない……》  
あの過ぎし日は二人だけの限りなき  
愛とやさしさに満ちあふれていた

華麗なるハリウッドに、真実の愛を貫き通した世紀の大ロマン!



ジェームズ・ブローリン  
シル・クレイマーグ  
アレン・ガーフィールド  
レッド・ボーンズ

ユニヴァーサル映画

CIC配給

# 面影

GABLE and  
LEONARD

おもかげ

製作/ハリー・コーシャク  
監督/シドニー・J・ヒューリー  
撮影/ジョージ・S・クロネンウエス  
音楽/ミシェル・ルグラン(サントラ盤MCAレコード)  
衣裳デザイン/エディス・ヘッド

(テクニカラー/パナビジョン)



# 面影

GABLE and LEONARD おもひぢ (カラー作品)

**\*美しく、そして華やかに燃えあがる  
最高のロマンス!!**

一九四三年一月一七日、アリゾナ州の山岳地帯に旅客機が墜落した。乗客名簿に記された「キャロル・ロンバード」の名前。彼女こそ、一九三〇年代のハリウッドを代表する大スターであり、また当時「キング」として映画界に君臨していたクラーク・ゲーブルの最愛の女性だった。事故の知らせに、とるものもとりあえず現場に飛んだゲーブルは、生存者がいるかも知れないという救助隊員の言葉に、一末の望みをかけつつ、飛行機が落ちたという山頂を見守り続けた。

その彼の頭の中を、キャロルとの運命的な出会い、それに続く彼瀾に富んだ出来事が次から次へと駆けめぐるのであった。彼女の面影と共に……

クラーク・ゲーブル——名実共にハリウッドの「キング」。死後一六年たった現在も彼が去ったあとの王座に坐る者はいない。

キャロル・ロンバード——三〇年代のスクリーンを飾ったブロードのメスター。美貌に加えて知性と繊細なユーモアのセンスにあふれ、洗練された魅力を持つ女優としては最高と言われた。

この二大スターの出会いから、逆境に耐えた愛の日々、そして悲劇的な結末を迎えるというドラマチックな物語の映画化は、「ピリ・ホリディ物語」のシドニー・J・ヒューリー監督長年の企画で、プロデューサーに「ピリ・ホリディ物語」のハリリー・コーシャク、脚本にバリー・サントラ、撮影にジョーダン・S・クローネンウエス、美しい愛のテーマが評判の音楽にミシエル・ルグラン、衣装にベテラン、エティス・ヘッドらを迎え、遂に実現したのである。

主役の二人には、数ヶ月に渡るオーディションの結果、クラーク・ゲーブル役にTVシリーズ「ドクター・ウエルビー」のジエーム・フロリン。キャロル・ロンバード役には「おかしなおかしな大泥棒」のジル・クレイバーグが選ばれ、美しい愛の物語を展開している。

共演者には「ナツシユビル」のアレン・ガーフィールドがMGGMのメイヤー社長を演ずる他、「ボセイドン・アドベンチャー」のレッド・バトンス、「ハリリーとトント」のメラニー・メイロンなどが出演している。

**\*エレガントに、華麗に登場する  
衣装の数々!!**

この映画で衣装デザインを担当しているエティス・ヘッド女史は、ハリウッドの大御所として知られる人物。彼女はこの映画の衣装をデザインするにあたって、実際にキャロル・ロンバードが映画で着用した衣装を何点か参考にし、あるものは忠実にオリジナルをコピーしている。

その中の一点、ピースの縫いとりに、キツネの毛皮でトリミングしたドレスは、40年前で一五〇〇ドル(45万円)、今日複製したものは七〇〇〇ドル(210万円)もかかったという。

**《キャスト》**

クラーク・ゲーブル

ジエーム・フロリン

キャロル・ロンバード

シル・クレイバーグ

イメー

MGM社長

アレン・ガーフィールド

MGM宣伝部長

クーパー

レッド・バトンス

リフ・ゲーブル

ジョアンヌ・リンベル

ティキシー

メラニー・メイロン

(上映時間1時間55分)

